

# 書籍紹介

12月に自費出版で「伊予のストーンヘンジ」松山・白石の鼻巨石群研究レポート」を出版しました。

地元のローカル紙に掲載されたり、少なからず反響を及ぼしてきました。

書籍名称：

「伊予のストーンヘンジ」松山・白石の鼻巨石群研究レポート」

著者：篠澤邦彦

発行元：eブックランド社

発行元連絡先：03-5930-5663

発売年月日：平成21年12月22日

値段：1680円(税込み)160ページ)

## 松山 白石の鼻巨石群

古代遺跡説提唱  
活動成果を紹介

調査委メンバー



白石の鼻巨石群の遺跡説について、これまでの調査成果をまとめた本を出版した篠沢さん

松山市高浜町6丁目「白石の鼻」の沖合にある巨石群が古代遺跡ではないかと提唱している「松山・白石の鼻巨石群調査委員会」(伸矢文和代表、5人)のメンバーがこのほど、調査活動の成果などをまとめた本「伊予のストーンヘンジ」松山・白石の鼻巨石群研究レポート」を自費出版した。

巨石群は地元では「三ツ石」と呼ばれ、五つの巨大な花こう岩が積み重なっている。中央部にすき間があり、春分と秋分の日の前後数日間だけ夕日がそのすき間に差し込むことから、同会では太陽運行と関連した遺構の可能性があると主張している。

史家の篠沢邦彦さん(45)＝同市古三津1丁目。2008年1月、最初四敷する歴史遺産が、愛媛にも眠る遺跡の可能性を直感して以来100回以上、現地に足を運び、地元調査を依頼した地質学者からは住民と協力し調査を続けてきた。跡説を否定されたとしながらも本では、巨石の構造や太陽運行「本を読めば、慎重に多面的に調査との連動性、古文書などの調査成果を解読。遺跡説アヒールの経緯を進めてきたことを理解してもらえらるのではないかと話している。

や、国内・海外の類似遺跡の紹介も盛り込んでいる。ストーンヘンジ A5判160頁で、税込み1680円。同会のホームページから申し込み。

石の里の宝出版PR

ワイドえひめ

WIDE EHIME